

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公開番号】特開 2005-128038 (P2005-128038A)

【公開日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2005-019

【出願番号】特願 2005-35366 (P2005-35366)

【国際特許分類】

G 0 1 F 1/00 (2006.01)

G 0 1 F 1/684 (2006.01)

【F I】

G 0 1 F 1/00 S

G 0 1 F 1/68 1 0 1 A

G 0 1 F 1/68 1 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

空気流量を計測するための計測素子と、
前記計測素子と接続された電子回路と、
通路を形成するとともに、前記計測素子を収納するハウジングとを備えた空気流量測定装置であって、

前記通路は、入口から入った空気が流れる第一の通路と、
前記第一の通路から分岐し曲がり部を有する分岐通路とがあり、
前記計測素子が前記分岐通路に設置された空気流量測定装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記第一の通路の出口の上流部には傾斜面が設けられたことを特徴とする空気流量測定装置。

【請求項 3】

請求項 2 において、
前記傾斜面は前記第一の通路の片側に設けられたことを特徴とする空気流量測定装置。

【請求項 4】

請求項 2 において、
前記傾斜面は前記第一の通路の両側に設けられたことを特徴とする空気流量測定装置。

【請求項 5】

請求項 1 において、
前記計測素子は前記曲がり部よりも下流側の前記分岐通路に設置されたことを特徴とする空気流量測定装置。

【請求項 6】

請求項 5 において、
前記計測素子の下流側の前記分岐通路に別の曲がり部が設けられたことを特徴とする空気流量測定装置。

【請求項 7】

請求項 1 において、

前記分岐通路は、前記第一の通路に対して 180° の方向に延在することを特徴とする空気流量測定装置。

【請求項 8】

請求項 1 において、

前記分岐通路は前記電子回路と前記第一の通路との間のハウジングに設けられたことを特徴とする空気流量測定装置。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれかにおいて、

前記ハウジングは測定対象空気が流れる主通路中に挿入設置され、

前記第一の通路の入口は前記主通路の上流に向かって開口し、

前記分岐通路の出口は前記主通路の流れに平行に開口したことを特徴とする空気流量測定装置。